パナマ運河と大河津分水展示記念講演会

1. イベント概要

日　時：平成30年10月14日（日）13:00~16:30
会　場：大河津出張所1階ホール
内　容：パナマ運河と大河津分水展示を記念した講演会が開催されました。
主催者：NPO法人信濃川大河津資料館友の会　後援：国土交通省北陸地方整備局、国土交通省信濃川河川事務所
参加者：108名

定員を超えた方々が集まり、会場は一杯になりました。

2. イベント状況

「パナマ運河と大河津分水そして世界の歴史を変える大土木構造物」と題し、3人の講師の方々による講演会が行われ、パナマ運河をはじめとする世界中の様々な土木構造物や青山士の功績などが紹介されました。その後、会場を移して「パナマ運河と大河津分水路展」の展示説明会が開催されました。

（一社）国土技術研究センターの伊藤和久氏は、運河や堰、ダムなどの世界各国の大型土木構造物を紹介されました。

北陸地方整備局金沢港湾・空港整備事務所畠田繁実所長は、近年のパナマ運河拡張工事を中心に紹介されました。

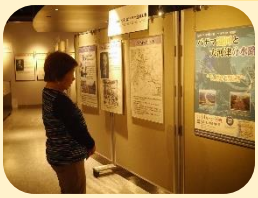
青山士とパナマ運河研究家の清水弘幸氏は、パナマ運河建設における青山士の功績を紹介されました。

講演会後の展示説明会では、パナマ運河と大河津分水路の比較が紹介され、駆使された技術や機械、事業実施の背景など、両者の接点が多いことに皆さん驚いていました。

参加者の声①

実際にパナマ船籍に乗って仕事をしていたことがあり、興味があり参加しました。講演会に出たクリストバルやボルボア港はよく行ったところで懐かしく感じました。大河津分水路とパナマ運河に共通することがあることを知り驚きました。大河津分水路改修事業も工事が進んできているので、注目していきたいと思います。（長岡市在住）

参加者の声②



青山士さんが主任として関わった岩淵水門の近くに住んいたので、青山士さんに関心があり参加しました。今日の講演会では、新しい発見もあり、パナマ運河のことも理解が深まりました。今後は、青山士さんが関わった岩淵水門がある荒川と大河津分水がつながっていくと良いなと思います。若い方に語り継いでいってもらいたいです。（埼玉県在住）